

科目名	実習ゼミⅢ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
摂食・嚥下障害の臨床像を理解し、評価・訓練の実際を習得する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
摂食・嚥下障害の臨床像について理解し、それに対する評価法と訓練法を学び、言語聴覚士の役割と課題について考える。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
摂食・嚥下障害の評価診断と治療についての知識と技術を習得する。							
回数	講義内容						
1	摂食・嚥下障害の障害像の理解を深める						
2	摂食・嚥下障害の評価法（1）						
3	摂食・嚥下障害の評価法（2）						
4	評価演習（1）						
5	評価演習（2）						
6	嚥下訓練：間接訓練の理論						
7	間接訓練演習						
8	嚥下訓練：直接訓練の理論						
9	直接訓練演習						
10	嚥下食について理解を深める						
11	嚥下食の実習						
12	臨床的なチームアプローチについて						
13	チームアプローチ演習						
14	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーション						
15	まとめ						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
言語聴覚士テキスト 第3版		大森孝一ほか		医歯薬出版株式会社			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。							